幣内分泌系 endocrine system

開発観めつち、導管からなく、分泌生物、かい毛を血管を介して血液中(二方対する。 (↑上皮が明見) (↑オットモン)

(POINT) 血液を介して、遠くはおれて岩管や新胞の機能に影響を与える。 (分析器官 視床干部 , 甲水腺 , 副腎皮質, 膵臓 , 胎盤 コトロール ・下垂1年 , 松果体(副甲)水腺 = 上及1/5年) , 印菓 米青菓

のホルモンの打工作用

- a, 発育、放选管調節
- b、物質の代謝を調節
- C、生体の内部環境を一定に維持。(ホメオスタシス)
- d. 小生行動、自律行動など、特殊な行動を調整

